

原則は主審がすべて記入

## 審判報告書(重要事項)

大会名 (大会の正式名を記入)

試合時間 60 分 延長戦 分 通常の審判報告書と同様

試合対戦 A ○○FC 対 B △△中学校

日 時 2017 年 11 月 27 日 12 時 35 分 キックオフ

退場・その他の重要な事項についての詳細(退場にした過程などを詳しく)

例1 「32分△△中学校23番○○○○氏による侮辱的な発言、退場について」

32分、センターサークル付近で、相手競技者のファウルタックルを受けた△△中学校

23番○○○○氏が、主審に詰め寄り、「なんでイエローカードじゃないんだ、お前ふざけるな、審判やめろ」と侮辱的な発言をしたので、退場を命じた。

その判定に対しては、素直に従い、フィールドから出て行った。

ただし、試合終了後、同中学校の監督○○氏が選手の退場となった行為について、

執拗に抗議してきたことも申し添えます。

例2 「47分○○FC15番○○○○氏による決定的得点機会の阻止について」

47分に最終ラインを抜け出した相手競技者に対して、○○FC15番○○○○氏が

ペナルティーエリア内で後方より右足で、相手競技者10番の左足にタックルを行い、

決定的得点機会の阻止をした。ボールにチャレンジできる可能性もないことから、

退場を命じた。その判定に対しては素直に従い、フィールドから出て行った。

審判報告書に記入した退場について、詳細が分かるように記入する。また、それ以外にもかなり重要なことがあった場合には記入する。

(2度目の警告は重要事項報告書は必要なし)

○タイトル

○客観的な事象「いつ」「どこで」「誰が(に)」「どうした」

○主審の下した決定

○退場・退席後の競技者・役員の行動・態度

以上のとおり報告いたします。

2017 年 11 月 28 日

主審住所 ○○市○○町○一〇〇

自筆

主審署名 愛日太郎

愛知県 サッカー協会会長殿